

編集後記

発刊の都合で、一年で最も寒いときにこれを書いています。皆様のお手元に技術室報告が届く頃には、南国から桜の便りがやってくる季節になっているかも知れません。新生の春、心をリセットして再び高山に望みたいものです。

さて今年も、技術室報告を皆様にお届けすることができました。発刊に際してご協力いただきました各位に、厚く御礼申し上げます。

技術室報告は、この巻で第11号になります。と、言うことは創刊されてから今年で11年目になる訳ですが、もっと前からあったような気がしてなりません。歳を取って時間感覚が鈍ってきたせいでしょうか。それはともかくとして、さらに言えば、技術室が発足してから11年以上を経過したことの証明にもなっています。技術室のメンバーも発足当時から年々入れ替わり、いわゆる団塊の世代に属する最後の技術職員が、来年度末で定年を迎えることになりました。メンバーの人数も発足当時の30数名より減って、再雇用職員を除くと現在約半数の17名となっています。そのためもあり技術室の形も、今年度からそれまでの班・掛制からグループ制へと変わりました。技術室は、このような厳しい現実の中にもありますが、技術職員各位には、不利な条件をかえって大きく発展するチャンスと捉えて、努力を怠ることなく進んで行って欲しいと思っています。

これからは、技術室のメンバーの平均年齢もぐんと若くなり、技術室は新たな展開をめざすこととなります。関係各位の皆様の、よりいっそうのご指導ご鞭撻を、どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

2010年3月 藤原 清司

《出版委員》

吉田義則	室	長
藤原清司	機器運転技術グループ	
園田保美	機器開発技術グループ	
三浦 勉	機器開発技術グループ	
坂 靖範	企画情報技術グループ	

技術室報告

第11号

2010年3月 発行

発行者 京都大学防災研究所 技術室

〒611-0011

宇治市五ヶ庄

[TEL:0774-38-4320](tel:0774-38-4320) FAX:0774-38-4291